

## あたたかいご支援ありがとうございました

### 【義援金・見舞金をいただいた方々】(※五十音順・敬称略・7月31日現在)

阿蘇森林組合	川西商店連盟	白川水源駅開業イベント参加者一同	(宗)日本敬神崇祖自修団
飯田 正文	川辺 耕三	鈴木 敏行	羽山 太二
飯法師 一幸	木下 文理	関 寛子	ヒジヤ ケンジ
泉玉露仮住宅	桐原 夏雄	全国町村議会議長会	福原 卓也
さくらさかせるぞう製作グループ	久木野地区 区長一同	全国町村会	星野 眞澄
井出 光昭	串焼き源氏 御客様一同	(有)太陽印刷社	丸野 聖一
伊藤 清一	熊本県町村議会議長会	高野病院	美里町建設業協会
今村 輝昭	(公財)熊本県総合保険センター	高橋 知子	南阿蘇村建設業組合
牛山 文正	熊本県町村会	竹田 広道	南阿蘇村さくらんぼ会
内田 貴子	熊本大学 白川会	伊達 藤一郎	南小国町
ウチダ ノブコ	熊本東急会	立野会 会員一同	宮崎 浩美
大谷 和子	栗山 美智子	田中 麗子	宮田 スエ子
大原 修	神戸市職員労働組合	長源寺	村上 広美
大原 京子	神戸市立長峰中学校3年生徒・職員一同	長陽中学校職員一同	山口市職員労働組合
小田 和子	(株)再春館製薬所	長陽地区 区長一同	横田 幸子
(有)オフィスアナログ	桜十字病院	(株)電研端子製作所	吉田 里美
甲斐 栄	佐々木 滋	徳恩寺	霊峰会
(学)嘉悦学園	佐々木 晴子	徳田 絹代	渡邊 美智子
加勢区	佐藤 正年	中尾 政俊	
門井 奈美	佐藤 政史	西岡 瞳	
亀田 フミ子	島原市政策企画グループ	西富 恵美子	

### 【物資をご提供いただいた方々】(※五十音順・敬称略・7月31日現在)

アーデンホテル	(有)くぎのむら	太宏設計事務所	古庄 里美
アジアプランニング	区長会(長陽地区)	高森ライオンズクラブ	フレイン
阿蘇立野病院	赤水熊日販売店	竹内 和朗	ペンション ウッドベッカー
阿蘇西ふれあい市場 あかみず	熊本県町村会	竹原 家佐登	堀田 貴美子
飯法師 一幸	熊本中央カントリークラブ	多田 民江	本田
市原 正人	熊本日日新聞	立野駅区長	前田 玲子
五木食品	熊本ビーエフコンサルタント	立野歯科	松岡 一雄
岩田加奈恵・佐々川実希	栗山 美智子	(有)ちようようむら	松野商店
(久木野中学校)	グループホーム協会	塚本 百合子	丸野 恭一
植田観光	黒澤	中尾 三郎	丸野 敬洋
上村食料品店	黒澤 政美	中尾 隆博	丸野石油店(有)
上村商会	郷 兼市	中尾 政博	美里町役場一同
上村 輝也	郷 和夫	長崎県新上五島町	南阿蘇温泉 伊織
内田 明子	郷 英昭	夏目 幸治	南阿蘇西小学校職員一同
宇都宮・横井	神戸市役所・山口市役所職員組合一同	日赤熊本県支部	南九州コココーラ 東営業所
宇藤 信幸	興和測量設計	日本乾溜工業	宮崎商店
(株)栄泉測量設計	コスモ波動院	日本生命	三宅板金
NGO国際飢餓対策	後藤	野田 浩幸	明星食品
おあしす米生産組合	後藤 裕子	(株)はくすい	民主党県連
オイルショップ黒田(有)	サンデン(株) 南九州支店	(株)はくすい従業員一同	村上 廣一
大浦 和子	サントリーフーズ(株)	橋本 和代	明治乳業
CARDOCK マサミ(有)	サントリー福岡	林 絹代	めるころ
歌岡総業(有)	山王(株)	東本願寺 熊本教務所	森 要治
片島 徳代	jwater	肥後銀行	森山浩司・由美(栃木駐在所)
学研教室 美咲野教室	J A 阿蘇 営農部	肥後銀行 高森支店	やな原星の里スポーツクラブ
金井 マサエ	J A 阿蘇	久永屋	山内 博史
亀川 寛大	自治労 熊本県本部	日高 永衣里	山本 和子
関東学院六浦中学校・高等学校	シャルレ	日之出水道	読売新聞社
木ノ内農園	浄土真宗 正教寺	福島 松二	旅館 朝陽
旧新魚目町職員有志一同	スーパーみつい	藤岡 イツ子・麗子	レンゴー(株)
ぎょうせい 九州支社	鈴の家	藤田 啓子	渡辺 悦郎
キリンビバレッジ	住友生命 阿蘇支部	富士フィルム	
キリンビールマーケティング(株)	(株)ゼンリン	藤本建設工業	

※この他にも多数のご支援いただいておりますが、お名前の確認ができない方は掲載できていません。ご了承ください。また、お申し出をいただきましたが、支援物資が重複し、お断りさせていただいた方々にもお礼申し上げます。ありがとうございました。

### こちら編集長!!

多くの爪痕を残した九州北部豪雨は、多くの人が尋常ではない雨の降り方に危機感を覚えました。「ゴーツと地鳴りのような音がした。来た! (土砂) と思い急いで家から飛び出すと、隣の家が土砂にのまれていた」と避難された方が体験を話してくださいました。あらためて、自然の猛威の前では、人は無力であることを思い知らされました。しかし、助けあって災害を乗り越える「人と人との絆」や「地域のつながり」の大切さに気付くきっかけとなりました。悪天候の中での捜索活動、避難者でありながらも炊き出しにご協力いただいた方、村内外からボランティアで駆け付けてくださった方、避難所の生活を支えてくださった方、そして、応援メッセージやお見舞いの言葉、義援金や物資を支援くださった方など、南阿蘇村は多くの方々に支えられました。ありがとうございました。また、避難所に届けた避難所ニュースも、この災害特集号も、多くの職員の協力で作り上げることができました。南阿蘇村も広報も皆さんから支えられていることを災害を通して再認識しました。心からお礼申し上げます。南阿蘇村は、災害に負けることなく復興に向け前進していきます。皆さんと一緒に頑張りましょう。

(奈央)

## 広報 災害特集号 号外

お問い合わせ先 ☎0967(67)1111